

## 解 答

53. (C)	54. (C)	55. (A)	56. (C)	57. (D)
---------	---------	---------	---------	---------

53. 「明日、空港に着いたら、中央入口の近くで私の友達があなたを出迎えます。その男性はあなたの名前を書かれたボードを持っています」

【誤】(C)near to→【正】near

- ▶ 下線部(A)を含むwhen節は「空港に着いたら」という『時』を表しているので、未来のことですがwillは用いず、現在形arriveで表しています。
- ▶ 下線部(B)を含む部分、you'll (B)be met by a friend of mineでmetは他動詞meet(~を出迎える)の過去分詞で「あなたは私の友人の一人に出迎えられるでしょう」という意味で、正しい表現です。
- ▶ a friend of mine (c)near to the main entrance「中央入口の近くにいる私の友達の一人」でnear toは前置詞的なはたらきをしていますが、near単独で前置詞として働きますのでtoが不要です。

[例] Joe lives **near**[<sup>x</sup>near to, <sup>x</sup>by] London.

(ジョーはロンドンの近くに住んでいる)

54. 「必ず月曜の朝までに、申請用紙を記入して提出してください。そうしないと、駐車許可是得られませんよ」

【誤】(C)fail doing→【正】fail to do

- ▶ (A)fill outは「(書式・申込み用紙など)に必要事項を記入する」という意味です。下線部(B)byは「期限」を表すbyで正しい表現です。
- ▶ (c)fail doingは誤り指摘問題では頻出である「不定詞vs動名詞」パターンです。failには自動詞/他動詞の用法がありますが、他動詞の用法では不定詞だけを目的語にとりますので、fail doingをfail to doとすれば正しい表現となります。

[語句]

□ **make sure that**節 「必ず～するように手配する/～を確かめる」

He **made sure that** the job would be properly done.

(彼はその仕事がきちんとされるように手配した)

□ **fail to do** 「～しない/～できない」 (=be unable to do)

If you **fail to** turn in homework assignment, you will be penalized.

(宿題を提出しなかった者にはペナルティーを課します)

cf. **not[never] fail to do** 「必ず～する」

▶ notは1回きりの行為、neverは習慣的な行為に用います。

**Don't**[<sup>x</sup>Never] **fail to** post this letter on your way to school. [1回きりの行為]  
(学校へ行く途中、この手紙を必ず投函してね)

55. 「昇進おめでとう！君の上司があなたの仕事をとても褒めていましたよ。あなたの会社への忠誠心がついに報われましたね」

【誤】(A)congratulations to→【正】congratulations on

- ▶ congratulations(祝辞、祝いの言葉)は「**congratulations to A(人) on B(事)**」という語法で用います。本問では、(A)Congratulations to your promotionと「your promotion(昇進)=事」がきていますので、toをonに直せば正しい表現になります。

56. 「ブルー=ロータス中国料理店では、1,500円で好きなだけ食べられます。そこへ行ったなら、私は食べ過ぎるであろうと分かっています」

【誤】(C)to eat→【正】eating

- ▶ (A)as much as you wantで「あなたの欲しいだけの量」という意味です。

[例] Take **as much as** you want.

(欲しいだけ取りなさい)

- ▶ (B)for ¥1,500のforは『金額』を表すforです。

[例] This house was sold **for** \$100,000.

(この家は10万ドルで売れた)

- ▶ ...I will **end up** (c)to eat too much…に関して、**end up**は「最後には～になる」という自動詞用法の句動詞です。**end up doing**で「結局～することになる」という語法で用いられ、**to do**の形は不適です。よってto eatをeatingとすれば正しい表現になります。

[例] He **ended up being** arrested. [受動態]

(彼は最後には逮捕された)

57. 「テムズ川といった大きな川は別として、ロンドン地域にあるほとんどの川は浅い。しかし、水位は季節や降雨量に応じて変化しうる」

【誤】(D)depend on→【正】depending on

- ▶ ...water levels can vary, (D)depend on the season and the amount of rainfall.  
で網掛けした部分は、andやorなどの等位接続詞がありませんのでカンマで続けることができません。**depend on**を群前置詞化して**depending on**～(～に応じて)とすれば文法的に正しく文意に沿った表現になります。  
述語動詞が3つ以上並ぶ場合は**vary**, **depend on** …(,) and **do**というようにカンマで区切ることも可能です。

[語句]

□ **except for** ~ 「～を除けば/～を別にすれば/～以外は」

*Except for* one old lady, the bus was empty.

(1人の老婦人を除いて、バスには誰も乗っていなかった)

□ **A, such as B** 「BのようなA/A、例えばB」

They export a lot of fruit, **such as** oranges and lemons.

(彼らはオレンジ、レモンなどたくさんの果物を輸出する)

□ **depending on** ~ 「～によって/～に応じて」

There are, **depending on** the individual, different approaches.

(人によっていろいろなやり方がある)